12
December 2018
No.750

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

笑顔ヘルC写真コンクール
会長賞
「待ちに待ったお散歩」

CONTENTS

- 巻頭言（理事　宇治 信博）……3
- 理事会報告……4
- 委員会報告……7
  （社会保険、医療対策、総務・医療連携）
- 個人投稿……12
- 笑顔ヘルCキャンペーン（山鹿市、人吉市・球磨郡）…14
- 郡市会報告……15
  （玉名郡市、山鹿市、天草郡市、阿蘇郡市）
- 九地連厚生行事……19
  （野球　ボウリング、剣道）
- リレー投稿㉔……22
- 祝　百寿……23
- 新入会員……23
- 会務報告……25
- お知らせ……27
- よかボス宣言……28

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

今年度の笑顔ヘルC写真コンクール会長賞の写真です。撮影者のコメントでは「猛暑で外遊びができなかったが、台風後、やっと外遊び、水たまりに大はしゃぎ」屈託の無い可愛い笑顔ですね。その他優秀賞１点、奨励賞１点、佳作５点、の計８点を本会ホームページに掲載していま す。一度ご覧ください。

（T. K）

「待ちに待ったお散歩」

更なる医科歯科医療連携の推進

理事　宇 治 信 博

会員の先生方におかれましては、日頃より本会事業にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

近年口腔と全身との関係について医科歯科連携の重要性が取り沙汰されております。私が担当している総務・医療連携委員会では医科歯科連携の中でも、がん患者医科歯科医療連携事業と回復期医科歯科病診連携事業を行なっております。

がん患者医科歯科医療連携事業は平成25年４月から連携を始め、現在23の病院から5,009件（平成30年８月末現在）のご紹介をいただいております。がん連携登録研修会は昨年度までで37回開催し、連携１（術前口腔ケア）を登録して頂いた先生は513人で、本会の会員数の50％を超えております。この数値は全国的にみてもとても素晴らしく会員の先生方の意識の高さが伺えます。

ところで、『均てん化』という言葉ご存知でしょうか？均てん化（均霑化）とは、「生物がひとしく雨露の恵みにうるおうように」という意味です。がん医療においては、全国どこでもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術などの格差の是正を図ることを指します。県民ががんに罹患された時、何処ででも平等で素晴らしい医療を受けられるような体制づくりが大事です。また周術期における口腔機能管理の重要性が更に認識され、今年度の点数改定では人工股関節置換術、脳卒中に対する手術、造血幹細胞移植手術が新たに対象手術に追加されました。これにより更に手術前の紹介患者数が増加していくことが予想されます。今年度も未受講の先生方のために２回開催を予定しておりますので是非受講していただきたいと思います。

つぎに、回復期医科歯科病診連携事業は平成26年４月から連携を始め、今年度新たに有明成仁病院と覚書を交わし、これで県内７病院（熊本機能病院、熊本託麻台リハ病院、江南病院、青磁野リハ病院、平成とうや病院、熊本リハ病院、有明成仁病院）から2,512件（平成30年８月末現在）のご紹介をいただいております。回復期病院退院後、施設や在宅で誤嚥性肺炎を引き起こし再度入院されるというケースも珍しくありません。県内においてまだまだ連携している病院が少ない状態です。今後県下全域の回復期病院との連携を目指していければと考えております。

最後に、上記の二つの事業は、来年度も地域医療介護総合確保基金事業として進めていくこととなります。これまでを振り返り問題点を改善し、より良い医科歯科連携構築を目指し、会員並びに県民のため取り組んで参りますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

理事会報告

口腔センターの歯科医師 歯科衛生士の常勤化に期待

― 第18回理事会 ―

10月24日（水）午後７時より県歯会館において、浦田会長他小島副会長を除く全役員出席のもと開催された。

１．開会：伊藤副会長
２．挨拶：浦田会長

10月に入りましてクールビズが終わりました。涼しくなりましたが、まだ暑いなという日もあります。寒暖差が激しいですので、体調管理には充分にお気を付けください。

今年も残り２か月程となりましたが、まだまだ対応していかなければならない会務がありますので、役職員一同、力をあわせて頑張って行きたいと思います。

本日、机上にありますように、執行部10年の歩みをまとめていただきました。来年の事業計画・予算策定の参考資料にするということで、当初予定よりも早めに仕上げていただきました。ご苦労をかけまして、本当にありがとうございます。毎年予算を削減し、今年も概ね１割カットということで話をさせていただきました。現在、会員の先生方に終身会員の見直しについて説明しておりますが、まずは自ら身を切る努力が必要です。その辺は役員の先生方もご理解いただくようお願いいたします。10年の流れを振り返って、事業によっては廃止してもよいとか大事にした方がよいとかをあらためて検討いただき、来年度の事業計画・予算を練っていただきたいと思います。

また、この10年間執行させていただいて、大きな懸案でありました口腔保健センターについて、これはまだ正式決定ではありませんが、歯科医師１名と歯科衛生士２名の常勤化を検討していると県庁から話がありました。非常にありがたい事で、これが実現すると障がい者の方にとってもいいことでありますし、本会にとっても長くこの事業を続ける礎があらたに確立されることになり、非常に喜んでおります。是非、この事業が実現するように今後とも県庁と話し合いながら進めて行きたいと思います。私もこの事業に携わり何とかしたいと常々思っておりましたので、心残りが１つ解消されると期待しております。

本日も慎重審議をよろしくお願いいたします。

３．議長選出：浦田会長
４．議事録署名人：中嶋監事、西野監事、浦田会長
５．平成30年度会務報告：
（自：９月20日～至：10月21日）
本会総務：理事会、常務理事会、裁定審議委員会、社会歯科学会秋季研修会
社会保険：介護保険請求ハンドブック
医療対策：九州各県歯科医療安全対策担当者会、医療相談苦情事例
総務・医療連携：スカイプ会議
学　　院：高校推薦・指定校推薦入学試験
事 業 課：陽子線治療説明会
以上、各担当役員より報告がなされた。
６．報告事項：
１．表彰
●厚生労働大臣表彰
田上 大輔　会員（阿蘇郡市）
※表彰式：11月17日（土）第39回全国歯科保健大会（於・栃木県）
●文部科学大臣表彰
中山 精文　会員（菊池郡市）
※表彰式：10月25日（木）全国学校保健・安全研究大会（於・鹿児島県）
●熊本県高等学校保健功労者表彰
玉置 孝信　会員（上益城郡）、
水上 正太　会員（八代）
※表彰式：１月25日（金）熊本県高等学校保健研究協議大会

2．100歳（百寿）になられる会員

●高﨑　敬正　会員（熊本市：大正７年11月５日生まれ）

日歯と本会からお祝金を贈呈する。贈呈は、親族である高﨑真由美会員に依頼して行う。

3．退会会員

●故　北田 賢次郎　会員（終身／玉名郡市）86歳　９月18日ご逝去

●磯野 誠一　会員（第１種／熊本市）９月30日付　閉院のため

4．平成30年度地域医療介護総合確保基金事業新規提案に対する熊本県の検討結果

10月17日に県医療政策課から示された、今年度の各事業の予算額と次年度の新規提案事業の方向性について報告がなされた。なお、以前より要望していた口腔保健センターの診療体制の充実に関しては、次年度から３年間は基金事業として予算化され、その後も永続的な事業として熊本県が検討しているとの話があった。

5．支払基金によるオンライン請求の推進

支払基金より、オンラインの活用及びオンライン請求の推進の観点から、紙レセプトによる返戻再請求が多いオンライン請求医療機関２件とレセプト請求件数が多い電子媒体請求医療機関８件に対し文書連絡等を行う旨の連絡があった。

6．日歯からの平成30年７月豪雨災害義援金の配分額決定報告

日歯より、９月11日現在集まっている49,469,985円の義援金について、会員診療所及び自宅で被害のあった13道府県に対する第１次配分額の報告があった。

7．熊本県在宅医療連合会代表者会議への対応

松本理事に出席してもらうことする。

8．第71回九州歯科医学大会厚生行事応援行程

10月28日（日）佐賀県にて開催される各厚生行事の応援行程について報告がなされた。

9．8020運動30周年記念式典及びシンポジウムへの参加

12月13日（木）午後２時より、東京・イイノホールにて開催され、浦田会長、牛島専務理事と澤田事務局長が参加する。

10．県学校保健会協力寄付金

今年度は、158人の会員より372口1,116,000円の寄付があった。

11．平成30年度老人保健健康増進等事業「歯科医師・薬剤師・看護職員向け認知症対応力向上研修の評価方法と受講後の実態に関する調査研究事業」に係るアンケート調査

昨年度、認知症対応力向上研修会を受講した会員のうち、本会及び郡市歯会で役員等をしている会員を中心に50人を抽出して日歯へ報告する。

12．事業企画書

●厚生・医療管理委員会：１月12日（土）「院長・リーダー歯科衛生士を対象としたスタッフ育成についての講演会」

13．事業実施報告書

●総務・医療連携委員会：８月末がん及び回復期の医科歯科連携事業

14．９月末会計現況

口腔保健センターの今年度上半期の状況は、前年度に比べ収入は毎月増えており、支出はほぼ予算どおりに推移している。

15．その他

●在宅歯科診療器材整備事業

現在、会員で歯科器材の購入を希望する場合は、10月29日（月）を締切として申込書の提出をお願いしている。なお、初めて購入される方でポータブルユニットとポータブルレントゲンの購入が優先となっている。

●浦田執行部10年のあゆみ

各役員が執筆し、渡辺副会長がとりまとめたものが完成した。このあゆみを踏まえて今後の事業計画を立てるようにする。

7．連絡事項：

1．11月行事予定

10日（土）の病診連携特別講演会は、現時点で約50人の参加申込であるため、各理事に委員会委員への参加を呼びかけてもらうこととする。

2．3月開催の臨時代議員会までのスケジュール

2月の第1回目の常務理事会は4日(月)、第2回目の常務理事会は13日(水)、理事会は19日(火)、3月の第1回目の常務理事会は4日(月)、第2回目の常務理事会は27日(水)、理事会は13日(水)とする。

3．平成31年度各委員会概算要求協議日程(案)

日程案どおりに実施する。

8．承認事項：

1．新入会員の承認〔承認〕

原田 華（第1種：熊本市)、秋吉 愛花（第1種：熊本市)、北須賀 通子（第1種：菊池郡市)、友枝 圭（第2種：熊本市)、溝口 千乃（第3種)、長田 明子（第3種)、山田 崇弘（第3種)、吉田 遼司（第3種)、山口 健太郎（第3種)、計9人の入会を承認した。

※30年度入会状況（10月末現在)：

第1種・17人、第2種・4人、第3種・25人、第4種・1医療機関

2．名義後援使用依頼〔承認〕

- 第66回熊本小児保健研究会／熊本大学医学部附属病院（継続承認）
- 熊本小児歯科懇話会第83回例会／熊本小児歯科懇話会（継続承認）
- 平成30年度県民公開講座／県歯科衛生士会（継続承認）

9．議題：

1．平成32年度（2020年）九地連公募研究事業のテーマ〔継続〕

一つはＢＰ製剤を始めとする薬剤関連顎骨壊死について、統一テーマとして提出する方向で次回理事会にて協議することとした。他に何かテーマがあれば牛島専務理事まで連絡することとした。

2．平成30年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業」災害歯科保健医療体制研修会への対応〔承認〕

宇治理事と県庁の楠田参事（歯科衛生士）に加えて、熊大口腔外科の中山教授から希望のあった災害歯科担当の歯科医師の合計3人を受講者として申し込むこととした。

3．定期便に係る同封物取り扱い基準内規並びに講演会及び研修会案内の掲載、郵便物同封等の基準の一部改正（案)〔承認〕

一部訂正の上で承認した。なお、内規なので、運用していき不都合があればまた見直すこととする。

4．北海道胆振東部地震被害に対する災害見舞金贈呈〔承認〕

日歯と日歯連盟が50万円ずつ、北海道歯科医師会と北海道歯科医師連盟へ見舞金を贈呈したことを受けて、本会としても50万円を贈呈することとした。なお、11月3日に浦田会長と牛島専務理事が北海道に直接出向き贈呈する。

5．平成30年6月定時代議員会に提出した第1号議案「公益目的支出計画実施報告書」の修正及び代議員への報告〔承認〕

県庁から指摘があり修正した旨を、3月の臨時代議員会時に報告することとした。

6．本会構成グループ以外の会員への中小企業グループ補助金代行手数料の助成〔承認〕

領収証の提出があった20人の代行手数料について、10万円を限度に助成することとした。

7．本会玄関ホール庇樋修理及び天井塗装工事〔承認〕

3社相見積の結果、価格が一番安い業者（岩永組）に修理及び塗装工事を依頼することとした。

8．熊日新聞「いい歯の日」企画広告掲載記事〔承認〕

一部訂正した上で承認した。

10．協議事項：

11．監事講評：

中嶋監事より、各委員会において予算の1割カットで策定中であると思うが、委員会においてスカイプ等を利用するなど削減に努めてほしいとの要請があった。

12．閉会：渡辺副会長

（理事　竹下 憲治）

委員会報告

今後の歯科界の展望と個別指導・審査・施設基準届出について協議

― 近県歯科医師会社会保険担当者会議 ―

社会保険

9月22日（土）午後2時より県歯会館にて、第20回近県社保担当者会議が開催された。牛島専務の開会の辞に続き、浦田会長、豊嶋香川県歯会長、小山山口県歯会長、宮口長崎県歯会長より挨拶があり、慣例により座長に田中理事が選出され、会議が進行した。

報告では、椿日歯社保委員より、規制改革推進会議の検討状況と今後の課題について、国際的な歯科界の現状も踏まえて熱い説明があり、最後に「“歯科医としては点数が低いがなるべく保険導入してもらった方が良いのか？”、それとも“一定の自由度を確保しつつ、競争市場にさらされる方が良いのか？”」、今後の歯科界が進むべき方向への問いかけがあった。

挨拶する浦田会長

白熱した意見交換が行われた

協議は各県から提出された33題の議題について行われた。主な議題としては、個別指導の状況や平均点の推移、新たな施設基準について等、白熱した意見交換が行われ、思いのほか各県の解釈の違いに驚き、また勉強になった。

この会議で得られた情報を参考に、さらに会員に役に立つ委員会として今後も努力して行きたい。

（市川 康裕）

委員会報告

平成30年度診療報酬改定の評価と今後の社会保障の動向

― 九州各県社会保険担当者会 ―

社会保険

10月13日（土）に、宮崎県歯科医師会館にて、平成30年度九州各県歯科医師会社会保険担当者会が開催された。県歯からは、椿常務、田中理事、桐野委員長、井口副委員長、4人で出席した。高橋宮崎県歯副会長の開会の挨拶にて会議が開始され、重城宮崎県歯会長と遠藤日歯常務の挨拶、出席者紹介があり、座長に根井宮崎県歯常務、副座長に玉井鹿児島県歯理事を選出し会議が進行した。日本歯科医師会報告では、遠藤日歯常務より以下のような報告があった。

医療費の動向について、日本歯科総合研究

機構によると、歯科診療医療費の経年推移は、平成19年に２兆５千億円で、それまで徐々に低下していたものが底を打ち、年々増加して平成29年には２兆91千２百億円となっている。また、金パラの使用金属費を除いた医療費について同様の傾向がみられた。熊本県の総医療費は、以下のように全国の前年比増減と比較すると高い数値となっている。

（%）

	H25	H26	H27	H28	H29
全国	0.8	2.9	1.35	1.5	1.4
熊本	1.1	3.1	1.14	2.3	3.4

施設基準届出については、平成30年６月１日時点で全国平均が、か強診は15.0%、歯援診は16.3%、外来環は32.0%であり、熊本県は、上記３施設基準で全国平均より高くなっている。平成29年度診療行為別歯科医療費増減額について、対前年増減額が多いものを挙げると、以下のようになる。

（億円）

外来環・初再診療	41.9
Ce	51.6
在宅合計	48.7
歯周組織処置合計	228.8
SPT２	139.3
補綴合計	－195.2
築造ファイバー	21.4
CAD/CAM本体	23.7

全体的に増加傾向にある中、補綴に関しては、合計が減少している。

平成30年度診療報酬改定の概要について、新たに口腔機能低下症、口腔機能発達不全症が病名として追加されたことは周知のことであるが、平成27年４月16日の日本歯科医学会からの提示案の中には、他に生活習慣性歯周病、口腔バイオフィルム感染症も含まれていたが、最終的に上記２病名が新病名となった。咀嚼能力検査・咬合圧検査・舌圧検査については、改定前は検査機器の購入のためにハードルが高く算定医療機関がほとんどなかったが、改定後は検査機器の価格が低下したことと算定要件が緩和されたことにより、徐々に算定医療機関が増えていくことが期待される。

急速な社会保障の変化へ対応を協議

今後の社会保障について、第111回社会保障審議会医療保険部会の資料より、医療費の動向等に応じて給付率を調整することが提示されている。即ち、患者負担を上限付きの定率とした上で、それ以外は被保険者全体で負担していたものを変更し、医療費が増えれば機械的に患者負担の割合も高くなるようにすることである。また、地域別の診療報酬の設定についても提示している。即ち、現在の診療報酬の１点10円を１点９円にする等を含むことである。第112回社会保障審議会医療保険部会では、2020年度に本格運用の開始予定となっているマイナンバーカードによる受診時の資格確認を可能とすること、被保険者番号の個人単位での履歴確認ができるように、現在の世帯単位の被保険者番号に２桁の個人を識別する番号を付すること、2020年度中に全保険者と全国の医療機関を対象にオンライン資格確認の運用を開始すること、特定健診データ・医療費・薬剤情報の活用について提案があった。

協議では21件の協議題、日歯への要望及び質問では11件が出され、遠藤常務からの説明と協議があり、午後５時30分過ぎに上窪宮崎県歯副会長の閉会の挨拶で会議は終了した。当該会議で得られた情報を、今後の委員会での活動に生かしていけるように努めたいと思う。

（桐野　美孝）

委員会報告

より安全で安心な歯科医療を提供するために

― 九州各県歯科医療安全対策担当者会 ―

医療対策

大分県歯科医師会館にて

10月13日（土）大分県歯科医師会館において、九州各県歯科医療安全対策担当者会が開催された。当県からは永松理事、五島委員が出席した。

まず、柴崎大分県歯副会長による開会の辞があり、続いて長尾大分県歯会長、森口日歯理事より挨拶があり、協議に入った。

１、平成30年度九州各県歯科医療安全対策関係事業計画並びに予算

各県提出の平成30年度の事業計画書並びに予算書についての報告があった。各県ともに、より安全で安心な歯科医療を提供するために意見交換や講習会を行っており、当県においても大変参考になる内容であった。

２、各県提出協議題

各県が抱える問題点について他県から意見を出し合い、協議検討を行った。損害賠償額の積算、応召義務のあり方、弁護士対応の事例、などの具体例について様々な意見交換が行われた。

当県より出席の永松理事（右）と五島委員（左）

３、日本歯科医師会への要望及び質問

厚生労働省委託事業「平成29年度歯科医療事故情報等事業」、歯科衛生士不足に対する日歯の対応、水銀処理、などの質問があった。それに対して、森口理事より広告規制の基本的な考え方やカルテの保存期間の見直し（紙カルテ５年保存からデータカルテ20年保存への変更等）、医療機関に退蔵されている水銀回収マニュアルなどの説明がなされた。

４、統一フォーマットによる事例報告

各県より２～３例の事案の報告があった。抜歯後の麻痺、針刺し事故、コミュニケーション不足などの多種多様な事案に対し、分析検討を行った。

その後、「最近の医事紛争の動向について」と題して、岡村大分県歯顧問弁護士より講演があった。医事紛争、医療事故、医療過誤について具体的な判例を用いて、分かりやすい講演が行われた。

最後に次期開催県である平塚福岡県歯理事より挨拶があり、閉会した。

（五島　嘉人）

委員会報告

「歯科＋医科＝∞（無限大）」

― 第２回歯科医科連携シンポジウム ―

総務・医療連携

10月20日（土）午後５時より県歯会館４Ｆホールにて第２回歯科医科連携シンポジウム「歯科＋医科＝∞（無限大）入院患者への訪問歯科が現場を変えた」が開催された。

〈講演１〉「回復期リハ病院における訪問歯科の新しい連携」

熊本託麻台リハビリテーション病院
理事長　平田 好文氏

託麻台リハビリテーション病院は連携開始５年間で訪問歯科診療依頼数が年々増加しており、その内の約半数の割合が義歯調整依頼であった。昨年１年間の回復期病棟入院患者515人のうち、約半数が義歯装着患者であり、その内37%に義歯に問題があったと報告された。医科歯科連携の実施、院内独自の口腔ケアセットの導入などで、連携開始以降、肺炎での緊急転院が減少したとの報告があった。

まとめとして、

・歯科訪問診療により患者の口腔機能が向上し摂食機能の改善に繋がった。
・効果を実感し病院スタッフの口腔内への意識が高まった。
・医科歯科連携を開始し早期の対応が可能となり、退院後も継続した口腔機能の管理が可能となった。
・口腔機能の回復と口腔衛生の改善は誤嚥性肺炎発症予防において重要と考える。

口腔ケアの導入で肺炎が減少

保健医協会との連携もますます強化

〈講演２〉「熊本県における回復期医科歯科連携について」

熊本県歯科医師会　理事　宇治 信博氏

回復期医科歯科連携を推進する歯科医師会理事の立場から、連携の必要性、また経済財政運営と基本方針2018（骨太の方針2018）に「生涯を通じた歯科健診の充実」「歯科口腔保健の充実」「地域における医科歯科連携の構築」などのワードが組み込まれたことを報告され、連携の重要性を話された。

続いて、連携事業の経緯、回復期医科歯科連携のシステムを説明され、連携開始以降の訪問依頼件数の増加、連携病院別の依頼件数を報告された。

今後の課題として、アンケートにより寄せられた回復期病院と登録歯科医院双方からの意見を数例挙げて、

・病院側と歯科側双方のコミュニケーションをもっと増やす。
・お互いの立場を配慮する。
・医科側の常識≒歯科側の常識。
・訪問歯科診療から在宅歯科診療まで継続的にサポートするシステムを推進させる。
・連携する病院を県内全域に拡げたい。

とまとめられた。

〈講演３〉「歯科標榜のない回復期病院に勤務する歯科衛生士の立場から」

江南病院　歯科衛生士　中村加代子氏

勤務する江南病院は診療科目に歯科がなく、

歯科医科連携の必要性を話す宇治理事

質疑応答するシンポジスト

演者はリハビリテーション科の歯科衛生士スタッフとして勤務している。その回復期病院内での歯科衛生士としての役割・仕事について講演が行われた。

歯科衛生士の仕事として、入院時口腔アセスメント、摂食嚥下専門士養成コース「口腔ケア」講義・実習、歯科訪問診療の検討・補助、病棟口腔ケア指導、病棟カンファレンス参加、新人看護師対象口腔ケア講義、全身麻酔オペ前口腔ケアの助言等を挙げられた。

病院独自の口腔ケアアセスメントシートを使用したり、看護師などの他業種でもわかりやすいように口腔ケアのポイント図示したシートを使用して、コミュニケーションを図っているとのことであった。病棟カンファレンスにも参加し、「口腔ケアチーム」「誤嚥性肺炎予防チーム」を作り、口腔内に問題のある患者の情報を提供し共有していると報告された。

衛生士の立場から口腔ケアの重要性を話す中村先生

院内に歯科がないということで、そこで働く歯科衛生士として医科のDrとのコミュニケーションが重要と話された。

最後に、シンポジウム形式の質疑応答が行われ、今後の歯科医科連携の推進、熊本市以外の郡市への連携拡大、病院に歯科衛生士を新規採用する際のアドバイスなどの質問・意見が出され議論された。

歯科医師、医師、歯科衛生士、看護師、言語聴覚士、教員、学生など計125人が参加。

昨年のキックオフシンポジウムに続き保険医協会とのシンポジウムは今回で２回目、今年度医科歯科連携講演会を別に開催しており計３回目の合同開催となった。

（片山 泰紀）

お知らせ

事務局の年末年始休業

仕事納め：12月28日（金）午後５時・業務終了
年末・年始休業期間：12月29日（土）～１月３日（木）
仕事始め：１月４日（金）午前８時30分・業務開始

個人投稿
私のプチ自慢
後編

「25万キロ走った金栗四三は私の大叔父！」

玉名郡市　春野 惟一

私の叔父さんに関する思い出は附中時代、体育の先生から「お前は金栗さんの孫だから走っとのそーにゃ速かろ？」と何度も尋ねられたことです。「そんな訳なかでしょ！」と思い、いつも言い訳してましたが歩くのと長距離は好きでした。

現在でも玉名から自宅まで45分ぐらい、熊本市内から自宅まで西里経由で４時間半くらい歩いて帰ることもあります。あまり苦にならず楽しいと思って歩きます。

コレは**カナクリズム（体力・気力・努力）**!?です。

カナクリズム

私の一回り年上のアメリカ在住の二人の従兄弟たちから聞いた面白話もあります。

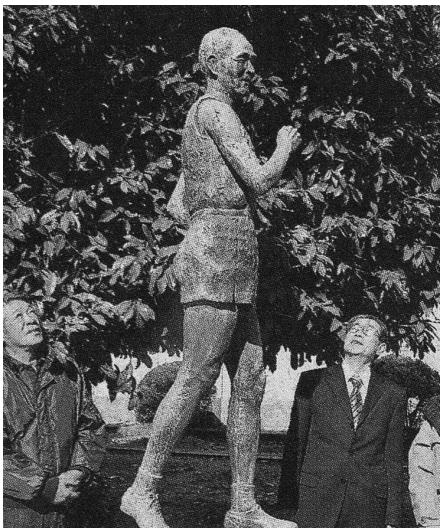
従兄弟二人が中学生の頃、四三叔父の玉名市上小田の自宅に遊び（探検）に行った時の話。静まり返った大きな屋敷の庭に勝手に入り込み、何処からか木刀を見つけてきて庭の植木を何本か切り倒して遊んでいたそうです。座敷の方に廻りどちらかが「座敷で四三さんが昼寝しとらすごたる。」と言ったので「ほんなもん（者）ね？」ともう一人に問い返すと突然障子がガタッと開き、四三叔父本人が「ほんなもん（者）ぞ！」と大声で笑いながら出てこられたのには驚いたそうです。

「なんばしよっとか？」と笑いながら尋ねられたそうですが、その時の驚きがよほど大きかったのか、そのあとの事は二人とも何も思い出せないそうです。もちろん中学のクラスの皆に「ほんもん（本者）の金栗四三さんに会ってきたぞ！」と得意げに自慢したのは覚えてるそうです。羨ましい話です。四三叔父67歳の事です。

「KK-WING」はご存知のように平成10年８月に落成した熊本県民陸上競技場の名前です。（現在は施設命名権で別名になっている）このK.Kは熊本のＫと金栗のＫだと御存知ですか？スタジアムの正面入口に金栗氏の等身大走姿像を建立しようと予算書も趣意書も出来上がり平成18年に四三叔父の長女、池部政子さんを訪ねて了解を得ようとしたそうです。でも結局、家族５人（弟、姉）で相談した結果、「今までもアチコチから銅像建立の話があったが、元気だった母スヤが固く辞退していました。たぶん父、四三の遺言だったのでしょう。」と今回も断られたそうである。

でも四三叔父の母校、玉名高校には四三叔父の喜寿77歳を祝って銅像が建っています。

ロマンティックな大記録「54年８ヶ月６日５時間32分20秒３」の話もご存知の方は多いでしょう。


玉名高校の銅像

四三叔父はオリンピックストックホルム大会のマラソンで途中棄権？行方不明？でゴールしていませんでした。「マラソン競技の完走を要請する！」とスウェーデンオリンピック委員会から丁寧な案内があったそうです。四三叔父は感激してこの招待に応じ、ロングコートに短靴のままゴール前数十メートルを走ってテープを切ったそうです。すると場内アナウンスが「日本の金栗四三選手、ただいまゴールインしました。記録54年８ヶ月６日５時間32分20秒３です！これで第５回オリンピックストックホルム大会はすべて日程を終了しました！」と。割れるようなスタンドの拍手の中、四三叔父は「長ーーい道のりでした。この間に嫁をめとり、６人の子どもと10人の孫に恵まれました。」と。

なんてお洒落でロマンティック、ユーモアあふれる感動的な話でしょうか。四三叔父76歳の事です。

54年ぶりのゴール

カナクリズム（体力・気力・努力）は単にマラソン競争における言葉ではないと思います。

四三叔父が書いてる「**マラソン十訓**」もただマラソン競争のための言葉じゃなく生活信条だと思っています。皆さんはどう感じますか？

最後にこの十訓を書き、今からでも四三叔父のような人間に近づきたいと思って筆を置きます。

1、規則正しき生活をなせ。
2、全身の強健を計り、忍耐力を養え。
3、速度は緩より急に、距離は短より長へ。
4、感情の昂奮を抑え、精神の平静を保て。
5、過労を避け早く寝て熟睡せよ。勢力（精力）を浪費するな。
6、滋養物を摂取せよ。暴飲暴食を慎め。
7、酒、煙草類は厳禁せよ。
8、練習は細心に、競争は大胆に。
9、競争年齢は17、18歳より35、36歳までが最も適当。
10、競争は最後まで堂々、力を出せ。

晩年の四三叔父さん

※文章中の叔父は実際は大叔父です。

笑顔ヘルＣキャンペーン

山　鹿　健康づくりフォーラムinやまが

10月８日(月)、山鹿市総合体育館に於いて、「健康づくりフォーラムinやまが」が開催された。

フォーラムは二部構成で開催された。第１部は「結果にコミットする」というキャッチコピーで知られる「ライザップ」のトレーナーによる講演会が行われた。肥満を解消したり、動ける体を作ることが健康維持に大切であるという内容であった。講演の合い間に、自宅でもできる筋トレを参加者全員で行うなど観客を飽きさせない構成となっており、予想以上にためになり、楽しめる内容であった。

第２部は「健康づくり・運動イベントブース」健康度測定、糖尿病予防、食育・栄養相談、ウォーキング等様々なブースに混じり、本会は歯科衛生士会山鹿支部と合同で「歯の相談ブース」を設置。歯科相談、試験薬による歯周病診断（ペリオスクリーン)、ブラッシング指導等を行った。歯科ブースへの来場者数は23人。相談内容は「口の中がネバネバする」「下の前歯が出てきた」「硬いものをかむと痛い」等、歯周病を疑わせる内容のものが多かった。ほぼ全員がペリオスクリーンを実施するなど、訪れた人達は自分の口腔内の健康への関心が高いと思われた。ところで、全ブース中最も盛況だったのは活力年齢（体脂肪、基礎代謝量、筋肉量）や血管年齢を測定できるブースであった。行列を眺めつつ、歯科ブースにももう少し気軽に参加できる催しが必要かもしれないと感じた。

歯周病に関する相談が多い

（赤星　一郎）

人吉市・球磨郡　歯科ブース36人参加

10月14日（日）午後12時30分から、人吉市の堤病院九日町診療所駐車場において、人吉保健所主催の糖尿病予防フォーラムの中で人吉市と球磨郡の歯科医師会の共催で「笑顔ヘルＣキャンペーン」を行った。

糖尿病予防フォーラムは、人吉球磨圏域において糖尿病の発症、重症化、合併症を予防するためのイベントで、健康の測定・相談（お薬相談、体脂肪測定、自己血糖測定、血圧測定、栄養相談、歯科相談等）を行った。

会場では、中原会長と３人の会員で歯科健診・相談、歯周病セルフチェック体験、ペリオスクリーンによる口腔衛生指導を行った。

２時間で36人の参加者。

糖尿病予防フォーラムの中で行われた。

来年も大いにアピールして、イベントを通じて人吉球磨圏域の歯の健康に貢献できればと思う。

（田中　勝久）

玉名郡市歯科医師会

「いざという時の心構えを」

― 救急救命講習会 ―

9月27日（木）玉名市民会館において、有明消防の救急隊員方を講師にお招きして救急救命講習会が行われた。まず2015年度ガイドラインに沿ったテキストをもとにして座学の講習が行われ、次に実際の現場を想定した実技、実習が行われた。実習では各班に分かれて、マネキン人形を使った心肺蘇生法、AEDの使い方などを隊員の方から教えていただいた。また、蘇生後の回復体位の取り方や、喉に異物が詰まった時の背部殴打法なども学んだ。

119番通報から救急隊が来るまでの全国の平均時間はおよそ9分とのこと。救急隊が到着後の電気ショックによる蘇生後の社会復帰率が約19%に対し、救急隊到着前に一般市民が蘇生を行った場合の社会復帰率はなんと約43%と2倍以上であるとのこと。AEDや救急キットを常備している医院が増えてきているが、実際の現場に出くわしていざ適切に行動できるのかどうか。このような講習会で定期的に勉強し、常に心構えをする必要があると思う。

心肺蘇生法AEDの使い方を学ぶ

（月精 秀和）

玉名郡市歯科医師会

～秋の夜長に快音が響く～

― 玉名郡市歯科医師会ボウリング大会 ―

10月19日夜（金）、毎年恒例の玉名郡市歯科医師会ボウリング大会が玉名市の司ボウルにて開催された。今年は新規入会のクリニックが2件あり、総勢80人近い参加者があって大いに盛り上がった。髙﨑会長の始球式を合図に18時45分ゲームスタート。会員およびスタッフや子供たちの大きな歓声とため息、ボールの快音が響き、秋の夜の肌寒さを吹き飛ばすような熱いゲームが各レーンで繰り広げられた。団体賞の順位は1位：さくら歯科医院、2位：さかい歯科医院、3位：ながひろ歯科クリニック（個人賞は割愛）。

その後はお隣つかさの湯の2階宴会場に場所を移し、永年勤続スタッフの表彰式およびボウリング大会表彰式、懇親会が行われた。永年勤続者は20年3人、15年3人、10年6人、5年5人で、それぞれ表彰状と記念品が授与された。

ボウリングの成績発表では1、2、3位のほか、キリ番賞やブービー賞、敢闘賞など沢山の景品が用意され、会長賞の豪華景品（！）をめぐっての恒例のじゃんけん大会もあり大いに盛り上がった。最後に犬束副会長からスタッフへの慰労の言葉で締めくくられ、懇親会は盛況のうちに終了した。

熱いゲームが繰り広げられた

（月精 秀和）

郡市会報告

山鹿市歯科医師会

「終身会員の条件変更を聞く」

― 山鹿市歯科医師会例会報告 ―

10月30日（火）に山鹿市歯会館にて例会が行われた。

冒頭に、牛島専務より、終身会員の条件変更について県歯の状況の解説をして頂いた。将来、県歯の会費収入が減少する事が予想され、高齢歯科医師の割合が増加する為、終身会員の適用年齢を段階的に引き上げる案と一斉に引き上げる案の解説がなされた。

会員から様々な意見や質問があった。本会は県歯以上に将来、高齢の会員の占める割合が増加する見込みである。本会でも、将来の会費収入見込みの試算や終身会員の条件変更について、議論が行われている最中である。

例会では、他に新年会、山鹿市で行われる予定のアジアハンドボール大会への歯科医師の協力、山鹿市健康づくりフォーラム、学術会、移動例会等、報告や意見交換がなされた。

説明をする中島専務

日本全体で人口減少、少子高齢化が進む中、会員の高齢化は非常に頭を悩ませる問題である。すべての全員が納得する終身会員の条件変更は難しいかもしれないが、将来の会員の為にも、他団体の例を参考にしたり、時間をかけて議論を行い、知恵をしぼらないといけない問題であると思う。

（小林 聡）

天草郡市歯科医師会

歯牙供養祭に備えて

― 歯恩の碑清掃 ―

10月13日（土）午後３時より本渡南公園にて、歯恩の碑周辺の清掃作業が行われました。当日は日差しが強い中12人の会員が、清掃に参加した。例年同様、石碑の周りの木の葉を均等に切り揃え、枝も何本か間引きし、石碑の周りの木の葉を剪定鋏みにて丁度いい長さに揃えた。約１時間30分の作業、無事１週間後の歯牙供養祭に備えることが出来た。

（山本 康弘）

皆で清掃してスッキリ

阿蘇郡市歯科医師会

天草を満喫

― 親睦旅行 ―

10月13日（土）～14日（日）親睦旅行で天草に行った。

13日午後１時小国町を出発！武藤歯科、道の駅阿蘇、熊本空港で会員をピックアップしてバスでの旅行が始まった。かる～く一杯やりながら、はしゃいだ気分で目指すはアレグリアガーデンズ天草。当日は天気も良く、着いたのは夕日がとても綺麗な午後６時ごろだった。夕食までちょうど１時間ゆっくりと温泉につかってさあ宴の始まり。安光専務の司会で武藤会長挨拶、片山会員の乾杯の御発声で宴は始まった。天草と言えば海の幸、お造りに活鮑の磯焼き…うーんたまりません。美味しいお酒をたしなみながら日頃の診療のことも忘れて大いに盛り上がった。終盤には味彩牛のポワレも出て大いに満足して宇治会員の一本締めでお開きとなり、その後部屋に帰って遅くまで語り合った。さて２日目、日の出は６時20分とちょっと遅めです。散歩をしたり朝風呂に行ったりして８時に朝食をいただきアレグリア天草を後にした。20分ほど通詞島のほうへ走ったところにイルカウオッチング会場があり港から10分ほど行ったところで５～６隻でイルカさがし。イルカの群れを見つけてはちょっとでも近くで見られるように場所の争奪戦であった。そのあと場所を天草海鮮蔵に移して海鮮バーベキュー。サザエ、車海老、やりイカ、タコ、アジ、緋扇貝を炭火焼で頂く。あとはお土産を買って帰路についた。年に一回の親睦旅行、かけがいのないひと時。ではまた来年！

大満足の２日間

（馬谷　真）

天草郡市歯科医師会

３年ぶり「歯恩の碑」前で開催

― 歯牙供養祭 ―

10月20日（土）午後２時より天草市南公園内「歯恩の碑」前にて第60回歯牙供養祭を開催し、会員23人が出席した。「歯恩の碑」前で行われるのは３年ぶりである。

開会の辞の後、本妙寺住職読経が始まり、しばらくして森口会長の祭文奏上が行われ、その中で歯牙に対する感謝の念と、地域医療への想いを述べられた。その後、会員一人ひとりが焼香をし、自分なりの思いを込めて合掌した。

最後に「歯恩の碑」前にて記念撮影を行った。

（山本　康弘）

23人の会員の参加

天草郡市歯科医師会

「審美修復を成功させるための戦略」

— 天草歯科医学大会 —

10月20日（土）午後３時30分よりプラザホテル天草２階研修室にて第55回天草歯科医学大会を開催した。今回は福岡県筑紫野市で開業されている森章氏に「審美修復を成功させるための戦略」という演題でご講演頂いた。

まず審美修復を成功させるためには歯科医師が患者の訴えを正しく問診し、どの様に解決するかを術前にしっかり資料をとって診査・診断し、どの様なゴールを設定するかを患者に提示することが大切である。そしてそのゴールは①機能を満たしていること②構造的に問題ないこと③生体親和性があること④審美的であることを目標にしていけば患者の満足度は上がるとのことであった。審美治療はどうしても審美的であるかという点に目が行きがちだが、森先生は審美面もそうだが機能的に大丈夫かということも非常に重視され、そのための診査・診断が極めて重要だということであった。

多くの症例を呈示しながら説明された。

後半は実際の症例を提示され、数歯単位から全顎に及ぶものまで様々な症例を提示していただき、どれも審美的かつ機能的に優れた症例ばかりで、大変勉強になった。

その後懇親会に会場を移し、美味しいお酒と新鮮な海鮮料理に舌鼓を打ちながら、遅くまで楽しい時間を過ごした。

（山本　康弘）

玉名郡市歯科医師会

今年度から数え70歳以上のお祝いに

— 福寿会 —

10月26日（金）午後７時より「尚玄山荘」にて福寿会が開催された。

昨年までは60歳以上の会員を福寿会会員としていたが、会の財政を考慮又60歳は現代社会では福寿にふさわしくないとの理由で、今年度より変更となった。数え70歳（古希）以上の会員をお祝いする会となり、福寿会会員５人、執行部９人、総勢14人の参加であった。

会が始まる前に参加者全員で記念写真を撮影した。まず髙﨑会長が挨拶され、その中で国の施策で70歳まで働ける環境づくりが始まっている事にふれられた。今後も健康に気を付けて70歳と言わず、80、90歳以上まで元気にご活躍くださいとお祝いを述べられた。次に福寿会会員の５人からそれぞれお言葉をいただいた後、乾杯の発声を犬束副会長が行い宴会にうつった。

おいしい料理とお酒を十分に堪能して、昔の会の思い出話やお互いの近況などを楽しく語り合った。最後に増田会員の１本締めでお開きとなった。

参加者全員で記念撮影

来年も皆さんが健康で元気に参加されることを願う。

（永廣　有伸）

九地連厚生行事　野球部

熊歯野球部無念の準決勝敗退

10月28日（日）、佐賀市のみどりの森県営球場ならび佐賀市立野球場（ブルースタジアム）に於いて、第71回九州歯科医学大会野球大会が開催された。我々は、みどりの森県営球場で試合を行った。１回戦は宮崎県に勝利して２大会連続の初戦突破であったが、続く準決勝で長崎県に敗れて10年ぶりの決勝進出はならなかった。尚、今回使用したみどりの森県営球場は数年に一度はプロ野球公式戦に使用され、今春のオープン戦でカープＶＳライオンズが開催された。我々としては久しぶりのプロ仕様球場での試合だった。

みどりの森県営球場

１回戦

田中弥３打点、河合完投勝利

宮崎	0	0	0	1	1	0	2
熊本	0	0	2	0	5	X	7

６回時間切れコールド

（宮）前田―弓場（熊）河合―福井

▽二塁打　山崎（宮）、前田（宮）、田中弥（熊）大鹿（熊）

０－０で迎えた３回の攻撃で一死から１番大鹿が死球で出塁すると、続く２番福井の安打や盗塁などで二塁三塁とした所で、３番田中弥の中越え適時二塁打で２点を先制した。その後、同点に追いつかれるが、５回の攻撃で一死から10番（本大会は10人攻撃可）西が中前安打で出塁すると続く１番大鹿の左中間適時二塁打で勝ち越すと、さらに田中弥の２打席連続適時打や田中勝の２点適時打などで５点を奪って試合を決定づけた。河合は６回に先頭打者を四球で出塁させるが遊撃併殺打に打ち取って、２失点完投勝利であった。

来季の雪辱を誓って球場前で集合写真。

１回戦の先発オーダー。久しぶりの電光スコアボートがある球場での試合だった。

準決勝

公式戦初登板樋口踏ん張るが、１安打完封負け

熊本	0	0	0	0	0	0	0
長崎	1	0	1	2	2	0X	6

６回途中時間切れコールド

（熊）樋口、西―渡辺洋、福井

（長）井上康、三浦―樋口

▽三塁打　畑田（長）　▽二塁打　原（長）

樋口は初回に先頭打者の遊撃内野安打を足掛かり一死二塁三塁とされると、相手４番打者の右犠飛で１点を先制された。３回には一死から四球で許した走者を二盗三盗で一死三塁とされた。続く打者は遊撃ゴロに打ち取ったが、走者のスタートが良くて１点を失った。打線は相手エースに封じられて３回まで樋口の遊撃内野安打のみであった。その後４回に暴投などで２点を追加されると、２番手西も一死から１番打者の三塁打と暴投、さらに死球で許した２番打者を盗塁で二塁に置いて、４番打者の適時打で１点を追加されて６点差とされた。何とか反撃したいところであったが、相手の６回攻撃中に時間切れコールドとなった。

（謝辞）球場まで応援に来て頂きました浦田会長以下執行部ならび事務局の方々にこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

参加者：菅原、上田、有田、中山、河合、渡辺洋、右山、吉崎、井口、田中弥、井上、井野、西、田中勝、福井、西山、椿、岡村、宇治、渡辺裕、樋口、江頭、大鹿、久保

※詳細なスコアは熊歯野球部ホームページを参照して下さい。

http://www012.upp.so-net.ne.jp/renkyu/

（井上　真樹）

九地連厚生行事　ボウリング部

「井尾会員、個人総合で準優勝」

10月28日（日）午前８時より、第71回九州歯科医学大会厚生行事のボウリング大会が、佐賀市のボウルアーガスにて開催された。

九州一円より84人の参加があり、熊本県チームは奥田、井尾、東、宮井、伊藤、秋山の６人で参加した。大会直前、部長の菊竹会員がアクシデントのため参加が叶わず残念であったが、これに奮起して６人で例年以上に事前練習を重ね当日を迎えた。

大会は個人戦、２人チーム戦、４人チーム戦の各３ゲーム、計９ゲームで争われた。主幹の佐賀県が例年より難しいレーンコンディションを設定したため、選手たちはストライクを連続させること、スペアを取ることさえも苦労していた。上位選手たちの１ゲームスコアも200UPになかなか届かず、ボウリングの難しさを実感する展開となった。

熊本県チームは

奥田会員…高齢表彰を授与され、フックボールも板につき堅実なプレーでスコアメイクした。

井尾会員…左股関節負傷で万全ではない中、経験を活かし少ないミスでスコアを重ねた。

東　会　員…入部後初めての大会出場となったが、良い経験となり今後の活躍が期待される。

宮井会員…終始オイルパターンにもがき苦しみ、日頃の投球を出せぬまま終了し悔いが残った。

伊藤会員…ストライク率は高いもののイージーミスも多く出てしまい、スコアが伸びなかった。

秋　　山…痛みに耐える井尾会員の分も頑張るつもりであったが、意気込みすぎて自ら腰を痛め自滅してしまった。

開会式を終え、やる気満々の６人衆

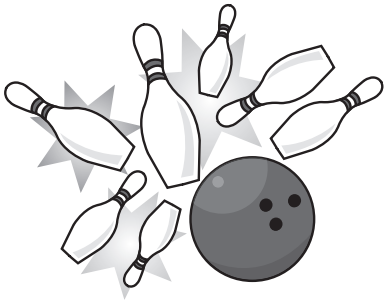
県勢の主な成績は次のとおり

・個人総合９ゲームトータルスコア
　準優勝　井尾会員　1798（HD.72）

・個人戦　３ゲームスコア
　４位　　井尾会員　629（HD.24）

今年も、途中上位に付けるチャンスはありながら他県に及ばなかった４人チーム戦が悔やまれるが、来年の長崎大会そして再来年、地元熊本大会では優勝旗を得られるよう心技体に磨きをかけてゆきたい。会場まで応援に来ていただいた執行部役員の先生方そして事務局の方々、温かいご声援有難うございました。

（秋山　清）



九地連厚生行事　剣道部

剣道団体戦Ａチーム２連覇、Ｂチーム３位

10月28日（日）今年も恒例の九州歯科医学大会剣道大会が佐賀市「佐賀県総合体育館」において開催された。

試合は団体戦と個人戦とに分けて行われ、団体戦においては各県合わせて全11チーム（１チーム５人制）が出場した。試合形式は例年通り、まず全11チームが２パートに分かれ予選リンク戦を行い、各パート上位２チームが決勝トーナメントへ進出し優勝を争う。

今年は昨年の団体優勝に続き連覇すべくＡＢ２チームの布陣で試合に臨んだ。

今年の試合の目玉は何と言っても何十年ぶり？に剣道を再開された伊東隆三会員の試合出場（個人戦シニアの部）と女子部員の長田、溝口会員の団体戦出場（今年の団体戦への女子出場は全県でこの２人だけ）である。

まず個人戦シニアの部では伊東会員の出場！初戦から鹿児島県の強豪と対戦し、惜しくも敗れるも、往年の試合運びを思い出させる持ち前の身体能力の高さで得意技の小手で１本をもぎ取り、会場を沸かせた。個人戦一般の部では今年こそは誰か優勝をと出場者全員が頑張ったが、今年も１歩及ばず、準優勝に太田、３位に中嶋会員が入賞するに留まった。

さて注目の団体戦では、Ａチームは予選で２戦全勝するもリンク戦独特のルールにより２位で、もう一方のパートでＢチームは他県の男子選手をなぎ倒す女子部員（つっ強い！）の活躍と男子部員の堅守（近藤、中井会員も頑張ったが、特に徳永会員大活躍！）により２位で見事予選を通過した。決勝トーナメントに入り準決勝では、Ａチームは早くも優勝候補の一角の福岡県Ａと対戦。４人目の副将戦終了時点で１勝２敗１分けと負け越していたが、大将・中嶋会員の会心の２本勝ちにて逆転し決勝へと駒を進めた。一方、Ｂチームは宮崎県と対戦。こちらも勝負の行方は大将戦までもつれたが惜敗し決勝進出を逃した。決勝はＡチームと準決勝でＢチームを破った宮崎県との対決となった。まず先鋒の切り込み隊長上村会員が開始早々に１本を先取し見事に１本勝ちを収めた。しかし次鋒の三森会員が武運つたなく２本負けしリードを許す。次の中堅・田ノ上会員は燻し銀の試合運びで引き分けを堅守し流れを五分に！勝負は後半戦に委ねられた。後半戦では副将の太田が運よく２本勝ちを収め、勝ち星の上で再びリード、勢いそのままに大将戦では中嶋会員が圧巻の２本勝ち！トータル３勝１敗１分けで決勝戦を制し団体優勝、２連覇を果たした。

団体戦Ａチーム２連覇達成、Ｂチーム３位の勇姿

剣道は年を取ってもできるスポーツの１つであるが、九地連の剣道大会も若手会員が毎年少しづつ増加しているものの平均年齢は約57歳と、厚生行事の中でも群を抜いている。アラフィフの私は最近若手との試合がしんどい時もあり、悔しいかな体力の衰えを感じ始めた（特に足！）。そういった中、70歳より剣道を再開し試合に出場された伊東会員や、いつも男子選手と戦っている澤木直子会員の勇姿を目の当たりにすると頭が下がる思いだ。現在、剣道部は老若男女また上級～初心者までが一堂に会する非常に良い部活動となっている。今後も部員一同、怪我だけはしないことを第一に各々の目標に向かって頑張っていく所存です！

また、日頃より応援して頂いている先生方に感謝いたします。

団体戦の出場選手は以下の通り。

（Ａチーム）先鋒：上村、次鋒：三森、
中堅：田ノ上、副将：太田、
大将：中嶋

（Ｂチーム）先鋒：溝口、次鋒：長田、
中堅：近藤、副将：中井、
大将：徳永

（太田　文隆）

リレー投稿 24

「そろそろ身体にも投資しよう…」

八代市　久貝 喜太郎

熊本県歯科医師の若手会である新樹会の西山洋三会員よりご紹介いただきました、港町ひさがい歯科の久貝喜太郎と申します。県歯会員の先生方には平素よりお世話になっております。

私は昨年７月に八代市にて開業させていただき、現在少しずつ「院長」に慣れてきたところです。開業当初は勢いと情熱みたいなものがみなぎっており、何とか日々をこなしておりましたが、昨今は疲労の蓄積が抜けぬことに憂慮している状態でした。また、大学卒業後から体重も30kg以上増加してしまい、健康診断の際には決まって、「少し運動をして、お痩せになられた方がいい」とのコメントをいただいておりましたので、このままではいけないと思い、肉体改造を開始することにいたしました。

腹筋をせずともお腹が引っ込むとの情報から、「自転車」を始めてみることに。自転車はクロスバイクとロードバイクがあるのですが、初心者なのでクロスバイクで。（安い、街乗りできる、50㎞くらいの距離なら走れるなどの理由です）自転車に乗るのは小学生以来でしたが、現在はスマートフォンのアプリで音楽を無線で聞きながら快適に楽しめます。スピードセンサーやケイデンスセンサー（ケイデンス＝ペダルが回る回数／分）、アップルウオッチなどをリンクさせるとGPS位置情報を元に、距離、タイム、速度、高度、ペース、消費カロリー等をリアルタイムで把握できます。またアップヒル、フラット、ダウンヒル、それぞれに要した時間をわかりやすくグラフ化するのでこれだけ走って、牛丼の並のカロリー相殺されてないんだとか、さっき走ったところ、けっこう坂だったんだなーなんてことが後で振り返れて面白いです。また日頃車で通りすぎる風景がより身近に感じることができ、普段は見つけることのできない発見などが多々あります。本来飽きっぽく、面倒くさがりなので、三日坊主に終わるかと思われましたが、今現在は乗っているときの爽快感がたまらないので、長く付き合える趣味にしていきたいです。今後は「輪行袋」という自転車を自家用車や電車に持ち込めるケースを購入して、九州の様々なサイクリングスポットに出向いていき、温泉と美味しいものを堪能して帰るなんてことを考えています。

初号機（今は色々計器が付きました）

フィジカルとメンタルをいい状態に保って、良質な仕事を提供していきたいと常日頃考えていたので、こういった趣味と出会えて、自分の身体への投資も必要だなーとしみじみ感じた。

次回は長崎大学歯学部時代の先輩であり、公私ともにお世話になっている熊本市佐藤歯科クリニックの佐藤邦彦会員にバトンを渡したいと思います。

髙﨑敬正　会員

百寿おめでとうございます。

髙﨑真由美会員の祖父、敬正会員がこの度百寿（満100歳）を迎えられました。

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

秋吉　愛花
（アキヨシ　アイカ）

熊本市東区月出2-1-39
オークヒル本田

なないろデンタルクリニック

①矯正。
②患者さんに対し思いやりを持って、高い技術力を提供する。
③歯科医師２人で勉強しながら、診療を行います。
④技術と決まりを勉強し続けます。

北須賀　通子
（キタスカ　ミチコ）

菊池郡菊陽町津久礼
字下沖野2950-14

ふわり子供歯科・矯正歯科

①口育に関心があります。
小さなお子さんの発育過程で保護者の方に啓発し、口育することで子供の成長を出来る限り正常な成長発育に乗せ、お口や全身の健康づくりに貢献したいと思います。

②患者さんに説明や指導をすることで予防を中心に考える歯科医療をしていきたいと思います。
　また、患者さん一人一人の事情や気持ちを推し量りながら診療していけるようになりたいです。
③ふわりのスタッフは全員女性です。子供のより良い成長のため保護者と共に考えサポートし、子供の患者さんだけでなく保護者にも寄り添える医院を目指します。
④予防について啓発し一人でも多くの患者さんが行動変容を起こせるよう、知識や技術、また人間力を高めていきたいです。

原田　華
（ハラダ　ハナ）

熊本市南区白藤2-2-38

瀬口医院はな小児歯科

①新規開院に向けて準備中です。子ども達が安心して通院できる歯科医院づくりにつとめています。
非協力児、発達障害児の治療について。
②小児歯科専門のクリニックに勤務し、小児の治療に従事して参りました。自身でも、小児に特化した治療、予防処置、成長発達の経過を診ていきたいと思っています。
③父である先代小児科院長から継承し新たに、瀬口医院ささ小児科はな小児歯科として開院します。小児科と併設しており、自身は小児歯科に特化した診療を行います。
④自身の生まれ育った地で、地域の子ども達やその家族とのコミュニケーションを大切にし、「かかりつけ医」として歯の治療や予防、お口のこと、育児のこと、栄養のこと、何でも気軽に相談できる医院を目指していきたいと思います。

第２種会員

友枝　圭
（トモエダ　ケイ）

熊本市北区武蔵ヶ丘5-1-16

友枝歯科医院

①熊本城の復旧。
②正しい医療情報を啓蒙、教育していく診療。
③特にありません。
④地域に貢献できるよう、頑張ります。

第３種会員

長田　明子
（オサダ　アキコ）

熊本市中央区子飼本町4-14

伊東歯科口腔病院

溝口　千乃
（ミゾグチ　チノ）

熊本市中央区子飼本町4-14

伊東歯科口腔病院

山田　崇弘
（ヤマダ　タカヒロ）

熊本市東区東町2-1-2

東町グラン歯科

吉田　遼司
（ヨシダ　リョウジ）

熊本市中央区本荘1-1-1

熊本大学医学部付属病院

山口　健太郎
（ヤマグチ　ケンタロウ）

熊本市東区東町2-1-2

東町グラン歯科

会　務　報　告

自　平成30年９月20日
至　平成30年10月21日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	９月23日	故北田賢次郎会員（玉名郡市）告別式弔辞奉呈（天水町）	浦田会長
	25日	第17回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 （３）名義後援使用依頼　ほか 【議　　題】 （１）平成30年度第30回中規模県歯科医師会の提出協議題 （２）平成30年度「九州」「中国・四国」地区歯科医師会役員連絡協議会の提出協議題 （３）「熊本県のよかボス企業」登録申請に関する「よかボス宣言」　ほか 【協議事項】 （１）各郡市の歯科医師会会長・専務理事連絡会議の事前質問	浦田会長他全役員
	26日	都道府県災害・警察歯科担当理事連絡協議会（日歯会館）	牛島専務理事
		九州地方社会保険医療協議会熊本部会（九州厚生局）	椿常務理事
	27日	天草郡市歯会会員研修会（天草プラザホテル）	渡辺・伊藤副会長、牛島専務理事
	28日	平成31年祖地域医療介護総合確保基金（医療分）ヒアリング （１）災害歯科医療研修強化事業	伊藤・渡辺副会長、宮井理事
	29日	第１回各郡市会長・専務理事連絡会議	浦田会長他常務理事以上全役員、宇治理事
	10月２日	裁定審議委員会 （１）委員長欠員による後任の互選（２）代議員会への委員長などの交代報告	委員６名、浦田会長、牛島専務理事
	３日	第30回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）３月開催の臨時代議員会までのスケジュール （３）平成32年度（2020年）九地連公募研究事業のテーマ　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	４日	第17回警察歯科医会全国大会第５回実行委員会 （１）全国大会事業報告（２）収支決算見込み（案）	浦田会長、小島委員長他全委員
	５日	労務管理打合せ	牛島専務理事
		県教育庁との懇談会（ホテル日航熊本） （１）県教育庁７名との懇談会	浦田会長、小島・渡辺・伊藤副会長、牛島専務理事、田上・八木常務理事、大林理事、澤田事務局長
	９日	第10回県地域医療等情報ネットワーク連絡協議会（県医師会館）	浦田会長
	10日	第804回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
	13日	社会歯科学会秋期研修会（１日目）（石川県歯会館）	浦田会長、牛島専務理事
	14日	社会歯科学会秋期研修会（２日目）（石川県歯会館）	浦田会長、牛島専務理事
	16日	ユース社労士法人との定期相談会	牛島専務理事、八木常務理事
	17日	第31回常務理事会 （１）新入会員の承認 （２）一般社団法人熊本県歯科医師会定期便に係る同封物取り扱い基準内規並びに講演会及び研修会案内の掲載、郵便物同封等の基準の一部改正（案） （３）平成30年度第27回中規模県歯科医師会連合会各県提出協議題に対する回答　ほか	浦田会長他６役員
		県医療政策課との打合せ （１）平成31年度地域医療総合確保基金（修学金、センター運営）	伊藤副会長、牛島専務理事、松本理事、平井委員長他１委員
	19日	熊本市議会議員三島良之氏「厚生労働大臣表彰」受賞祝賀会（熊本ホテルキャッスル）	浦田会長、伊藤副会長、牛島専務理事
	20日	第71回九州歯科医学大会第63回剣道大会壮行会（熊本市）	渡辺副会長
	21日	杉原瑛治先生瑞寶雙光章受章祈念祝賀会（ホテル日航福岡）	大林理事
学　術	９月21日	学術委員会 （１）科研製薬㈱共催学術講演会（２）12／１懇親会・役割（３）浦田執行部10年間の歩み	井上理事、馬場委員長他全委員
	10月19日	学術委員会 （１）12／１スケジュール（２）歯科医学大会（３）次年度事業計画	井上理事、馬場委員長他全委員
社会保険	９月20日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	橋本副委員長、渡辺・清藤委員
	22日	社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）近県社保担当者会議　ほか	椿常務理事、田中理事、桐野委員長他全委員
		近県歯会社会保険担当者会議	浦田会長、牛島専務理事、椿常務理事、田中理事、桐野委員長他全委員
	27日	保険集団個別指導（ユースピア熊本）	椿常務理事
	29日	社会保険個別相談会 相談者：３名	桐野委員長、野田副委員長
	10月５日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：０名	田中理事
	11日	保険個別指導（九州厚生局熊本事務所）	田中理事
	12日	社会保険個別相談会（宇土市） 相談者：１名	桐野委員長、舩津委員
	13日	九州各県社会保険担当者会（宮崎県）	椿常務理事、田中理事、桐野委員長、井口副委員長
	15日	社会保険個別相談会（山都町） 相談者：１名	野田副委員長
	16日	社会保険、センター・介護合同委員会 （１）第５回介護保険請求ハンドブック作成に伴う打合せ	田中理事、桐野委員長、井口副委員長、舩津委員
	18日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	野田副委員長、園田・福田委員
	20日	社会保険個別相談会 相談者：１名	桐野委員長他３委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）個別指導チェック表　ほか	田中理事、桐野委員長他全委員

所管	日付	摘要	出務者
地域保健	9月22日	後期高齢者歯科口腔健康診査事業研修会（山都町社会福祉協議会　矢部支部） 受講者：376名	岩本上益城郡専務理事
	26日	後期高齢者歯科口腔健康診査事業研修会（三加和町公民館） 受講者：175名	福田委員
	28日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（㈱プランニング） 受診者：５名	歯科衛生士１名
		後期高齢者歯科口腔健診事業打合せ（県市町村自治会館） （１）後期高齢者広域連合との打合せ	牛島専務理事
	10月１日	第２回県後期高齢者医療運営協議会（県市町村自治会館）	田上常務理事
	９日	地域保健委員会 （１）笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント役割分担 （２）生活歯援プログラム歯科衛生士向け研修会 （３）後期高齢者歯科口腔健康診査事業の今後の対応　ほか	田上常務理事、赤尾理事、郷原委員長他全委員
	10日	後期高齢者歯科口腔健康診査事業研修会（清和体育館） 受講者：140名	石井上益城郡常務理事
		協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（㈱ゆーぜん） 受診者：14名	歯科衛生士２名
	13日	九州各県地域保健担当者会（福岡県歯会館）	赤尾理事、郷原委員長
	18日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（㈱南海生コンクリート） 受診者：４名	歯科衛生士１名
		第２回笑顔ヘルＣキャンペーン打合会 （１）熊日・歯科衛生士会・広域連合・熊本市8020健康づくりの会との打合せ	田上常務理事、竹下・赤尾理事
広　報	9月26日	九州各県広報担当者会打合せ （１）九州各県担当者会における熊本県歯のプレゼンの事前打合せ （２）パワーポイントを使って資料確認	竹下理事、永廣委員長他１委員
	10月11日	広報小委員会 （１）会報11月号第１校校正（２）11／４（日）笑顔ヘルＣ出務	竹下理事他３委員
	18日	笑顔ヘルＣ写真コンクール審査会 応募総数：84点	竹下理事
学校歯科	9月20日	県ＰＴＡ共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
	28日	第57回全日本学校歯科保健優良校表彰優秀賞候補校実地診査（鹿児島県阿久根市・三笠中）	大林理事
		児童生徒の心と体の健康づくり推進事業第２回報告書作成委員会（水前寺共済会館）	大林理事
	10月17日	第６回日学歯理事会（日歯会館）	大林理事
医療対策	9月21日	医療相談	永松理事、岡田委員長他１委員
	10月２日	医療相談	永松理事、添田委員
	５日	医療相談	永松理事、岡田委員長他１委員
	12日	医療相談	永松理事、岡田委員長他１委員
	13日	九州各県歯科医療安全対策担当者会（大分県）	永松理事、五島委員
	18日	医療対策委員会 （１）事例報告検討（２）委員提出協議題（３）理事報告	永松理事、岡田委員長他全委員
センター・介護	9月22日	第２回多職種で取り組む食支援アドバンスコース 福岡クリニック在宅部　栄養課　中村育子栄養士　受講者：47名	小島副会長、田上常務理事、松本理事、平井委員長他４委員
	10月９日	菊池郡市歯会会員研修会（菊池郡市歯会館）	長野委員
		口腔保健センター打合せ	小島副会長、伊藤学院長、松本理事
	10日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業打合せ （１）県障がい者支援課との打合せ	松本理事
	13日	九州各県地域保健担当者会（福岡県歯会館）	松本理事、平井委員長
	16日	社会保険、センター・介護合同委員会 （１）第５回介護保険請求ハンドブック作成に伴う打合せ	松本理事、平井委員長他２委員
	20日	第３回多職種で取り組む食支援アドバンスコース 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 言語聴覚科 教授 柴本勇先生（言語聴覚士）　受講者：42名	田上常務理事、松本理事、平井委員長他５委員
厚生･医療管理	9月20日	玉名郡市健康診断（玉名市民会館）	
	26日	健康診断打合せ	宮井理事
	28日	厚生・医療管理委員会 （１）九州各県厚生担当者会議（２）九州各県医療管理担当者会議 （３）合同就職説明会　ほか	八木常務理事、宮井理事、池嶋委員長他全委員
	10月４日	菊池郡市健康診断（菊池郡市医師会立病院）	
	５日	菊池郡市健康診断（菊池郡市医師会立病院）	
	６日	八代健康診断（八代市医師会健診検査センター）	
	13日	八代健康診断（八代市医師会健診検査センター）	
	19日	菊池郡市健康診断（菊池郡市医師会立病院）	
		厚生・医療管理小委員会 （１）九州各県担当者会（２）熊本国税局管内税務指導者協議会 （３）医療管理講演会　ほか	宮井理事、池嶋委員長、工藤副委員長
	20日	九州各県医療管理担当者会事前打合せ（長崎県歯会館）	宮井理事、池嶋委員長
		九州各県医療管理担当者会（長崎県歯会館）	宮井理事、池嶋委員長

所管	日付	摘要	出務者
総務･医療連携	9月28日	医科歯科病診連携事業（回復期）個別相談会 参加者：4名	宇治理事
		総務・医療連携委員会 （1）第2回歯科医科連携シンポジウム（2）第1回各郡市会長・専務理事連絡協議会 （3）浦田執行部10年の歩み　ほか	宇治理事、三森委員長他全委員
	10月5日	県医療・保健・福祉連携学会第1回企画委員会（県医師会館）	井上理事
	11日	迷想会研修会	宇治理事
	16日	総務・医療連携委員会 （1）スカイプ会議（2）歯科医科連携シンポジウム（3）浦田執行部10年の歩み　ほか	宇治理事、三森委員長他全委員
	20日	第2回歯科医科連携シンポジウム 出席者：125名 講　師：熊本託麻台リハビリテーション病院　平田好文 理事長 熊本県歯科医師会　宇治信博 理事 江南病院　中村加代子 歯科衛生士	伊藤副会長、牛島専務理事、宇治理事、神﨑副委員長他2委員
学　院	9月28日	臨床実習指導担当歯科衛生士研修会 歯科衛生士過程に関する研修会 出席者：歯科衛生士出席者：実習施設指導担当者33名、口腔センター歯科衛生士7名他	伊藤学院長、牧・林副学院長、弘中教務部長、正清委員
	10月1日	第4回学院校舎増築臨時検討委員会 （1）増築構想	伊藤委員長、小島副委員長、八木・松本・牛島・弘中・林委員、菅顧問
	9日	第1回学院入学試験委員会 （1）平成31年度入学試験実施要項案（2）合格・不合格通知	浦田会長、伊藤学院長、小島・渡辺副会長、牛島専務理事、牧・林副学院長、弘中教務部長
	20日	学院高校推薦・指定校推薦入学試験 受講者：42名	伊藤学院長、渡辺副会長、牛島専務理事、牧・林副学院長、弘中教務部長
国保組合	9月20日	全協理事長・役員研修会（アルカディア市ヶ谷）	浦田理事長、桑田常務理事
	26日	健康診断打合せ	上野副理事長、桑田常務理事、守永・瀬井理事
	10月1日	第3回国保理事会	浦田理事長他全役員
事業課	10月6日	第1回陽子線治療説明会 受講者：10名	渡辺副会長
	18日	第2回陽子線治療説明会 受講者：16名	渡辺副会長

お知らせ

※「歯の学校」待合室等に置いて下さい！

日歯から年2回（5月・11月）、国民への歯科医療啓発を目的に対外ＰＲ用の小冊子**「歯の学校」**が発行されています。是非待合室等に置いて患者さんに見て読んでもらって下さい。バックナンバーは日歯ＨＰにも掲載されておりますのでご活用下さい。

熊本県歯科医師会会長のよかボス宣言

1．私は全力で仕事に取り組むとともに、休暇もしっかりと楽しみ、おいしいものを食べる幸せをいつまでも追及します。
2．私は職員が健康で、充実した人生を楽しめるように、職場環境を整え仕事と家庭の両立を応援します。
3．私は女性歯科医師がさまざまなライフステージに合わせて歯科医療に取組み、さらに歯科医師会活動ができるよう応援します。
4．私は「よかボス」を増やすために、歯科医療機関への働きかけをおこないます。

※よかボス宣言とは？

熊本県が実施するもので、「熊本を支える力強い産業の復活・発展と、魅力ある雇用の創出」や「県民の結婚・出産・子育ての希望の実現」を目指して、子育て環境をはじめとする誰もが働きやすい環境の整備など、県民総幸福量の最大化に向けた取組み。

県内企業や事業所の経営者など、熊本県全体に「よかボス」を増やして、オール熊本で県民の総幸福量の最大化を目指すものです。

其の 1

会員専用グループ保険制度のご案内

今年度から保険料がさらにお安く

最高「3000万円」の保障が無診査で加入OK

配偶者も1000万円まで加入OK

1年更新で配当金は毎年加入者へ還元

※昨年度実績40%還付

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

其の 2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので
会費明細引きがご利用できます。

個人でご加入した保険料が団体割引でお安くなり、
保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アメリカンファミリー生命　住友生命　損保ジャパンひまわり生命
第一生命　日本生命　富国生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局　TEL：096-343-8020　担当：奥村]　までご連絡ください

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
December 2018 No.750

笑顔ヘルC 8020歯からはじめる

1 主な行事予定 January

4日(金)	事務局仕事始め
9日(水)	第36回常務理事会
12日(土)	医療管理講演会
13日(日)	糖尿病・歯周病医療連携研修会（九州看護福祉大学）
16日(水)	第37回常務理事会
19日(土)	第２回認知症対応力向上研修会（菊池市中央公民館）
23日(水)	第21回理事会
26日(土)	第２回各郡市会長・専務理事連絡会議

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

全国の65歳以上の割合（高齢化率）が27.7％になった。沖縄が超高齢社会の水準に初めて突入した事をうけ、今年、全ての都道府県で超高齢社会となったようだ。

先日、地元の商店街のイベントで、歯科相談ブースに参加したのだが、相談者の９割が高齢者だった。昔、通学路だった商店街で、学校帰りに寄り道して友達との懐かしい思い出の場所だが、今ではシャッターが目立ち、飲食店や文具店も学生ではなく、杖や押し車を押す高齢の方々が多くすっかり様変わりしてしまった。震災前、スーパーの一角にあったファーストフード店はどこかのサロンのようで、お客の高齢者率が全国一ではないかと思えるほどだった。淋しさは感じるものの、高齢者のパワーに感服する。“オーラルフレイル”予防にも力を入れて、ますます元気な人生を謳歌してもらいたい。

祖父もめでたく（!?）100歳を迎えた。まさかの有言実行に驚愕している。３世代大老中老初老介護は大変であるが、気難しい肥後もっこすが穏やかな笑顔を見せてくれるようになり、若輩歯医者はこれからも頑張らなければ…

（T. M）

■発行日／2018年12月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷